

地域再生プロジェクト計画書

実施主体名（市町村名） 釧路市

単一実施・広域実施

地域再生プロジェクト名	くしろ木づなプロジェクト		プロジェクトの期間	平成 23 年度～平成 24 年度		事業区分	新規・ 継続	
格差の分野	<input type="checkbox"/> 社会構造の格差 <input checked="" type="checkbox"/> 地域経済の格差		地域経済の格差を客観的に比較する選択指標 [<input type="checkbox"/> 一人当たり課税所得 <input checked="" type="checkbox"/> 完全失業率 <input type="checkbox"/> 観光入込客数]					
	<input type="checkbox"/> 地方行財政の格差 <input type="checkbox"/> 医療・福祉の格差 <input type="checkbox"/> その他の格差（ ）		医療・福祉の格差を客観的に比較する選択指標 [<input type="checkbox"/> 少子化率 <input type="checkbox"/> 医師・歯科医師数 <input type="checkbox"/> 医療・福祉就業者数]					
是正を目指す地域格差の状況	木材・木製品製造業 従業員減少割合 (H12 比) (工業統計 H12, H21)		・釧路市 64% ・全道の平均 43%		完全失業率 (H17)		・釧路市 8.29% ・全道の平均 6.52%	() ・当該市町村 ・全道の平均
地域重点プロジェクトとの 関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	◆ 地域重点プロジェクト名 森を育み、森に親しむ「釧路の森 林づくり」プロジェクト		◆ 主な取組 ○建築業者や農業等と連携した地材地消の推進、森林バイオマスの利活 用の促進				
地域再生プロジェクトの 目標	(地域の現状) ◆豊富な森林資源と都市機能が近接する優位性があるものの、域内での高付加価値化は遅れている。							
	(地域の課題) ◆地域材の地産地消の促進 ◆地域材の地域内での高付加価値化							
(プロジェクトの目標) ◆地域の木材を地域内で高次加工する体制整備								
期待される効果（指標）	設定目標（項目）	現状値 (平成 21 年) ※計画段階の最新統計		支援期間終了後の成果目標 (平成 24 年)		将来的な成果目標 (概ね 5 年後)		
	木材・木製品製造業従業員の 減少ストップ	109人		121人		125人		

地域再生プロジェクトの展開

■住民・民間団体等との協働又は広域連携（地域の多様な主体の参画、連携・協働、地域相互の連携・補完等）

・地域再生プロジェクトの企画立案段階における連携（地域意見の把握方法など）

平成22年11月、林業・木材産業関連事業者はもとより、酪農業（畜舎敷料として木質資源を活用）、木質バイオマスボイラー利用業者など、森林・木材に関わる多様な関係者からなる「釧路森林資源活用円卓会議」を設置し、市内の豊富な森林資源の活用に向けて検討を進めている。
（参加総数27名、うち川下部会14名、川上部会13名※平成24年6月現在）

・事業実施体制の考え方（多様な主体の参画、地域相互の連携・補完）

今後も「釧路森林資源活用円卓会議」において議論を行いながら事業展開を行う。

■先駆性（創意工夫、新規性、類似の地域課題・地域特性を有した他地域へのモデル性）

釧路市は、平成17年10月に阿寒町、音別町と合併し、森林面積10万1千ha、人口18万4千人の「森林都市」となった。豊富な森林資源と都市機能を併せ持つ合併地域における、民間と行政の連携による地域材利用の取り組みは先駆的である。

また、釧路・阿寒・音別と、異なる地域から多様な関係者が参加し、新たなアイデアを生み出しながら事業を組み立てていく進め方は新規性を有する。

■優位性（地域の資源・資産の有効活用、他の分野への波及効果）

地域の豊富な資源である「森林」を活用しようとする取り組みであり、素材生産や製材などの各部門で雇用が発生し、大きな経済波及効果が生み出される。また、環境負荷の低い森林資源を有効に活用することで、釧路市が環境に配慮した取り組みを進める街であることへのPR効果も期待される。さらに地域材の継続利用により、循環型の森林利用を推進することができ、造林や下刈、除間伐などの森林整備事業の推進にも繋がり、山村地域における継続的な雇用を生み出す。

■継続性（支援期間終了後における地域再生プロジェクトの展開）

・事業の実施主体について

支援期間終了後も、「釧路森林資源活用円卓会議」における連携、意識の共有を図りながら、行政、各事業者がそれぞれ役割分担のもと地域材活用を推進する。

・財源の考え方について

適宜、必要な財源を確保しながら進める。

地域再生プロジェクトの実施計画

No	事業名等		事業概要	年次別実施計画		
				これまでの実績	平成23年度	平成24年度
1	事業名	もっと知るくしろの木		<p>(事業概要) 森林資源や流通実態の現状把握を行うための調査と情報共有</p> <p>(取組内容) <input checked="" type="checkbox"/> 林分調査 <input checked="" type="checkbox"/> 品質調査 <input checked="" type="checkbox"/> 流通調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GPS機器の購入と林分調査による市有林の資源状況把握 ・打撃音測定による市有林材強度試験 ・森林資源のエネルギー利用方策を検討するための燃焼試験 ・林地残材流通コスト調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPS機器を活用した林内路網調査、私有林の資源状況把握 ・私有林材の流通コスト調査 ・市有林における効率的な森林施業体系の検討
	実施期間	平成23年度～平成24年度				
	実施主体	釧路市				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 既存 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施				
	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助				
	事業費	平成23年度	2,505千円			
	平成24年度	3,000千円				
	計	5,505千円				
2	事業名	もっと使うくしろの木		<p>(事業概要) 地域材の付加価値を高めるための新規利用方法の検討</p> <p>(取組内容) <input checked="" type="checkbox"/> 商品開発 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カラマツカウハッチの作成（生後0～2か月の子牛用） ・カラマツフローリングの作成 ・学校机用カラマツ天板の作成 ・木質ボイラー見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・試作品作成（エクステリア部材・木のおもちゃ・木製簡易防災シェルター等）
	実施期間	平成23年度～平成24年度				
	実施主体	釧路市				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 既存 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施				
	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助				
	事業費	平成23年度	949千円			
	平成24年度	3,000千円				
	計	3,949千円				
3	事業名	もっと伝えるくしろの木と技		<p>(事業概要) 地域材継続利用のための人材育成と、エンドユーザーへのPR</p> <p>(取組内容) <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成研修 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成研修会の開催（計4回：乾燥技術・木材強度・遮音性能・木材塗装） ・木造建築マップの作成 ・イベント出展（釧路遊びの祭典『子供フレンドパーク2012』） ・FMラジオ放送 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成研修会の開催 ・イベント出展 ・エンドユーザーを対象とした森林・製材工場・施工現場等見学会 ・一般市民を対象とした成果報告書の作成 ・PRグッズの作成
	実施期間	平成23年度～平成24年度				
	実施主体	釧路市				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 既存 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施				
	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助				
	事業費	平成23年度	2,547千円			
	平成24年度	4,000千円				
	計	6,547千円				
計	事業費	平成23年度	6,001千円			
		平成24年度	10,000千円			
		計	16,001千円			

留意事項

1 「格差の分野」欄

是正を目指す格差について、該当する分野を1つ選択すること。地域経済の格差又は医療・福祉の格差を選択した場合は、その格差を客観的に比較する指標を〔 〕内から1つ選択すること。なお、その他の格差を選択した場合は、その格差の内容を（ ）に記載すること。

2 「是正を目指す地域格差の状況」欄

地域格差の現状について、具体的な指標の数値により全道平均と比較すること。
また、比較する指標を〔 〕に、年度等を（ ）に記載すること。

3 「地域重点プロジェクトとの関連性」欄

地域重点プロジェクトとの関連性について、該当の有無を選択すること。

なお、該当する場合は、「地域重点プロジェクト名」と「主な取組」を記載すること。

※地域重点プロジェクト～ほっかいどう未来創造プラン（新・北海道総合計画）に基づき策定された「政策展開方針」における「地域重点プロジェクト」

4 「地域再生プロジェクトの目標」欄

- (1) 地域の現状・課題：地域再生プロジェクトを企画・立案する背景となった、地域の現状・課題について具体的に記載すること。
- (2) プロジェクトの目的等：上記「地域の現状・課題」を踏まえ、提案するプロジェクトは何を目的として、どのような取組を実施するのか、どのようにして課題を克服するのか等を記載すること。

5 「期待される効果（指標）」欄

上記4に記載の目的の達成に向けた数値目標を設定すること。なお、目標の設定に当たっては、実際に把握可能な定量的な目標を設定すること。

6 「事業名等」欄及び「事業概要」欄

- (1) 実施期間：各構成事業の始期及び終期を記載すること
- (2) 実施主体：市町村、住民組織、NPO、企業、大学等と具体的に記載すること。また、複数の主体が協働で実施する場合は、それぞれ記載すること。
- (3) 事業区分：交付金を要望する事業に限り、次により該当する区分を選択すること。
 - ① 新規：市町村等において今年度新たに取組む事業
 - ② 既存：地域再生プロジェクトの目的達成に必要な既存の事業
 - ③ 継続実施：継続して交付金の交付を受けようとする地域再生プロジェクトにおいて過年度の交付対象事業を継続して実施する事業
- (4) 実施形態：市町村側からの視点による事業の実施形態について直営、委託、補助の別を記載すること。
- (5) 事業費：各構成事業の年次別事業費（予定額）を記載すること。
- (6) 事業概要：各構成事業の目的・ねらい、概要を記載すること。
- (7) 取組内容：各構成事業の取組事項を記載すること。

7 「年次別実施計画」欄

上記6の(7)に記載した「取組内容」について、これまでの実績、事業期間内における具体的な取組等を記載すること。